



2年間の集大成「研究成果発表会」が開催されました

2月18日(木)に、佐賀大学にて学校教育学研究科(教職大学院)の修士課程2年生(M2)による「研究成果発表会」が行われました。「研究成果発表会」では、第1部にシンポジウムがあり、第2部は授業実践探究コース、子ども支援探究コース、教育経営探究コースに分かれ、探究実習の成果が報告されました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、対面・同時中継・オンデマンド配信を活用した開催となりました。私たち修士課程1年生(M1)は会場準備や分科会の設営、運営など、先輩方の発表のサポートを行いました。



○第1部 シンポジウム

「広がる特別支援教育の中で求められる教師の専門性とは ～子どもの教育的ニーズに応じるために～」

日野久美子教授の基調提案では、特別支援教育の現状と課題の視点から、教員の専門性向上研修のご紹介があり、特別支援教育を担う教員の心構えについて考えていくことができました。また、話題提供として、佐賀県の特別支援教育の現状に関して佐賀県教育センターの伊藤一義先生から、教員の特別支援教育の現状に関してM1の江口亜加音さんからの発表がありました。

その後、発表した3名のトークセッションが行われました。特別支援教育の在り方について学ぶことができ、有意義な時間となりました。



○第2部 研究成果発表

《授業実践探究コース》

それぞれの教科においてあげられる課題を解決するために、理論とそれをもとに取り組んだ実践の成果と課題に関する発表が行われました。

質疑応答の際には、多くの意見や質問があり、M1は来年に向けて参考になる発表会となりました。

《子ども支援探究コース》

今年度のM2は学部卒業生等学生(ストマス)が1名、現職教員等学生(現職)が3名、計4名の発表でした。ストマスからは、アンガーマネジメントの授業実践に関する研究が、現職からはそれぞれの学校の課題に対して、特別支援教育や教育心理の理念を基軸にしたアプローチ方法や、様々な支援ツールの開発等についての研究発表が行われました。会場や同時中継参加者からも活発な質問や意見が出され、非常に有意義な発表会になりました。

《教育経営探究コース》

現職5名による発表が行われました。所属校の現状分析をもとに、先行研究を参考にしながら、組織マネジメントや協働づくり等の学校改善を行ったことが報告されました。通常の業務を行いながら研究を行うという「二刀流」を完遂し、充実感でいっぱいのM2の方々の表情が印象的でした。



M2の先輩方の発表を通して、来年度の実践に向けて、気を引き締めて頑張ろうと覚悟を決めることができた発表会となりました。先生方、M2の皆様、本当にお疲れ様でした!